

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	ストックホルム大学 (国名:スウェーデン)	
留学先学部名(またはプログラム名)		
留学期間	2015年 8月 ~ 2016年 6月	
学部/学府・年次	法 学部/学府	3年次~ 4年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="radio"/> (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	二年前期や三年前期でできる限り興味のありそうな科目を履修しておく	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	専門単位履修数が不足したため入れなかった法学部以外で自由に選択した。週に2~3日、数時間の授業しかなく、基本は個人で学習するという形である。課題は多いが、自分の都合に合わせて勉強できる点は良い。ひとつの科目を1~2カ月で履修するという並行した学習を行わないシステムは体系的理解にはあまり向いていない気がするが、多くの友人は一つに集中することで深く理解できることを喜んでいて。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学: 学びたい言語の応募者同士でバディを組むという制度がある。 勉学: 勉強会やエッセイの書き方レクチャー、学部の学生向けオフィスがある。 精神: 学生組合が不定期にイベントを開き、新しい人と会うことができる。 住居・生活: 学生寮に住めばトラブル時は管理会社と連絡を取ったり同居人と相談したりできる。国際課の担当からのレクチャーも留学生生活当初にあり、一通り生活の情報を教わることができる。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>留学生の人数が非常に多いにもかかわらず、一人一人にサポートが行き届いており、迅速かつ正確である。担当者は連絡が取れない時にも自動返信で連絡可能な日時や代替りの担当者の連絡先で補ってくれた。他の欧州国へ留学した友人が連絡で苦しむ中、いつでも頼ることができるというのは非常に安心できた。震災時にもきちんと対応してくれ、私は帰国を要することはなかったが、改めて安心して暮らすことが出来た。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>アルティメットゆとり学習のようなものだと思う。今まで小学校から大学受験まで学習塾に通い、自分のコントロールといえどとにかく授業を詰めたりアルバイトで埋めたり外部的事象に頼りきりであった私には、学校に行くこともあまりなく暇になろうと思えばひたすら暇になれるこの環境は、思いもよらぬ方向からの衝撃であった。ただ、講義で聞く勉強でなく自分で本を読んで理解していくことが中心の勉強は、自分のペースで進めることが出来て非常にありがたかった。結果単位はとれたり取れなかったりだったが、日本で単位を落とす時より勉強の記憶がある。幼稚園より短い拘束時間で自分をいかに律するか、そこまで低レベルでなくても、学業と並行して何かやりたい人には十分な時間がとれる環境だと思う。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	
<p>ビザ申請先</p>	<p>Swedish Migration Agency</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>オンラインで手続きを行う。ひとつ面倒なのが、移住可能な経済力を保障するための残高証明である。オンラインの情報入力と別で銀行に出向く時間がある。しかし、その後大使館から書類を受け取ると、日本で大使館に登録に行く必要はない。バーコードのついたメールとパスポートを持って日時を指定し、現地移民局に登録に行く。わからない部分があればストックホルム大学の担当者に聞けば細かく教えていただける。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>2週間(担当によってはかなり長くなる場合があるらしい)</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>在留カードの裏に就労と書かれているが問題はなかった</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	首都でありながら、水道水が非常においしく、空気も澄んでいて、街中でもオーロラが見える。夜は遅くまで空いている店は多くないが、国民性もあり、早朝の活動には困らない。冬については、セントラルヒーティングのおかげで寒さの心配は少ない。しかし、路面は数カ月凍結しており、日没は午後二時である。よって、心がけて体を動かしたりおいしいコーヒーで一息ついたりなど、心身の健康を保つには、日々の留意が必要である。五月には冬が終わり今度は日が沈まなくなる。春の訪れから夏への移り変わりは息を飲む美しさで、太陽の下、長い冬を耐えたことをぜひ喜んでください。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 約12万 円/月 (生活費内訳)住居費: 約6万(光熱水通信込)円、光熱水料:円、通学費:三カ月で2万円、食費: 3万 円、電話代: 1500円で2GB、インターネット代:円、書籍代: コース初めに1万 円 その他:(具体的に) 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	テキストのオンライン化が進んでおり、教材は管理サイト上で配布される。タブレット端末を持っている人はぜひ持っていきと首が疲れずいいかと思う。(もちろんプリントアウトも格安で、可能である。)寒いカイロは少ないと思う。伸びた前髪を切るためのハサミもあると便利だろう。
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	スウェーデン国内は、治安が良い。中央駅だけは少し注意したほうがよさそうだがそれ以外は女性1人でも特に心配ない。困ったことがあれば国のどこにいても皆快く流暢な英語で助けてくれるため問題ない。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	口座を作ることも可能。クレジットカードが使えないところはほとんどないのでカードを数枚持参すれば困らない。むしろカードしか受け付けないところが多く、現金は特に少ない。ユーロ圏ではないため、ゆうちょのサービスなどが使用できない。私はクレジットカードを2枚とJTBのデビットカードを1枚持参した。

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	Kugshamra, Solna, Stockholm	
費用(月額)	約6万円	
どのようにして見つけたか	大学の Housing Office の紹介を通じて。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	推薦可能。十分な広さである。静かで、家のすぐ裏に大きな森と湖があり非常に環境がいい。	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	大学まで15分ほど。最寄駅前にスーパー・薬局等あり便利。他の学生とにぎやかに暮らしたい人は学校の横の Lappis という寮の方がいいかもしれない。	
5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント

--	--	--

6. その他の特記事項

--